

## 飲料の温度から見る中国の飲食文化

中国でこの夏を過ごして私が日本文化と中国文化の違いを感じたのは、飲食店で食事をする際の飲料の温度についてである。もちろん、日本の飲食店のように、席につけば店員が一人ずつに飲み水を持ってくるサービスの習慣はなく、中国の大抵の飲食店では各テーブルにやかんが置いてある。そのやかんの中のお湯を客が各自でついでいく。また、そういった飲食店でジュースや炭酸水、ビールなどの飲料を頼むと、だいたい室温のものが出てくる。「冷たいものをください。」と伝えても、「これが一番冷たいもの。」と言って、やはりぬるい飲料が出てくるのが大半だ。韓国や日本の外国料理の店や、外国人観光客が多く訪れる観光地では比較的冷えた飲料があるが、多くの一般的な飲食店では真夏でもお湯を出されることが当たり前のようなものである。現在では外国の食文化も広まりつつあり、冷えた飲料を飲むことを好む人もいるが、どんなに暑くても健康のために毎日そういった冷えた飲料を飲むことは避けるようである。

では、なぜ中国人は冷えた飲料を好んで飲まないのか。それは東洋医学的思考が根強く関係しているからであると言える。東洋医学には西洋医学にはない「冷え症」という病気の概念がある。東洋医学で「冷えは万病のもと」と言われ、身体の病気のみならず心の不調の原因となると言われている。

東洋医学といえば、もちろん日本にも広まっている考えである。しかし日本では、近代化にともない徐々に受け入れられなくなった考え方だ。特に戦後、日本では外国思想が広がり、暑い時にはキンキンに冷えた飲料をぐびぐび飲む文化が広がっている。特にビールについては、冬場の寒い時期でも、冷えたものでなければ飲みたくないと思う人が多いだろう。

そのような日本文化を中国人は、「病気になりやすい」「老後が心配」と感じ、少なからず抵抗感があるようだ。東洋医学はもともと皇帝や上流階級を中心に広まった。古代から伝わるその長生きの術が現代中国の飲食文化に根付いているのだ。

また、風土や生活環境から、冷たい水は安全ではないということも考えられる。中国人は伝統的には、生魚、生野菜、生卵、生水を口にしない。現在では外国の食文化の広まり、食物を保存する電力環境の広がりから生ものも口にしますが、広大な中国大陸ではやはり新鮮な食物が家庭に届きにくい。日本では多く生で口にするとトマト、きゅうりなども中国料理の中では加熱するように、食中毒などの危険を回避するため、加熱した飲食を好む習慣がある

のだ。

そのため、中国の学校や寮、食堂、列車の中、長距離バスの中など至るところで、飲むことが可能な熱湯が出る水槽タンクを目にしたことがある。これは一般的に、無料で使用することが出来るので経済的である。また、中国では水筒を携帯している人が老若男女を問わず多くいる。人々は設置されている水槽タンクを利用して、その各自の水筒にお湯を注いで白湯やお茶を飲む。列車の中ではカップラーメンを食べる人も大勢いる。カップラーメンをつくる事が出来るほどの熱湯が出るからである。

<列車の中の水槽タンク（写真赤丸部分の蛇口から熱湯が出る）>



だからといって、完全に冷えた飲み物を飲まないわけではなく、周りの大学の友達も暑い時は冷たいものも飲むし、冷たいアイスクリームも食べる。しかしやはりそればかりではなく、健康面や経済面から自分の水筒を使って、できるだけ白湯を飲むことを心掛けているようだ。

<参考文献>

(1) 漢方の話（夏の食養生について）2015/10/10 最終アクセス

<http://kitchen-orita.com/kanpo/natu.html>

(2) マイナビニュース【中国人妻、あるある!】--(1)冷たい飲み物を飲みたがらない

2015/10/14 最終アクセス <http://news.mynavi.jp/news/2013/05/16/067/>

・私が試した冷え性対策あれこれ 2015/10/14 最終アクセス

[http://www.hiesyo-kaizen.com/about/02\\_03\\_east.html](http://www.hiesyo-kaizen.com/about/02_03_east.html)

(3) 【中国BBS】冷たい飲み物を飲む日本人が信じられない！2015/10/15 最終アクセス

[http://news.searchina.net/jp/disp.cgi?y=2013&d=1019&f=national\\_1019\\_002.shtml](http://news.searchina.net/jp/disp.cgi?y=2013&d=1019&f=national_1019_002.shtml)

(4) 鄭愛莉『日中間コミュニケーションにおける相互理解－飲物の温度差について－』

(2011年)

<http://repo.lib.ryukoku.ac.jp/jspui/bitstream/10519/984/1/r-ks-sen->

[knnp\\_020\\_007.pdf#search='%E4%B8%AD%E5%9B%BD+%E6%B0%B4+%E5%86%B7](http://repo.lib.ryukoku.ac.jp/jspui/bitstream/10519/984/1/r-ks-sen-knnp_020_007.pdf#search='%E4%B8%AD%E5%9B%BD+%E6%B0%B4+%E5%86%B7)

[%E3%81%88%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%AA%E3%81%84'](http://repo.lib.ryukoku.ac.jp/jspui/bitstream/10519/984/1/r-ks-sen-knnp_020_007.pdf#search='%E4%B8%AD%E5%9B%BD+%E6%B0%B4+%E5%86%B7%E3%81%88%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%AA%E3%81%84')